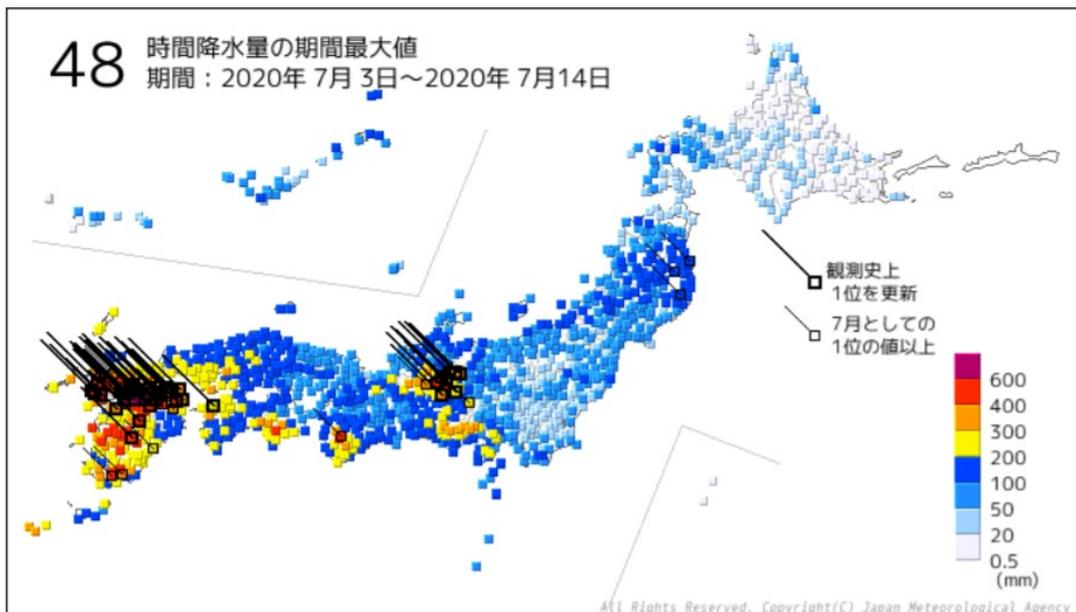


# 令和2年度の出水について

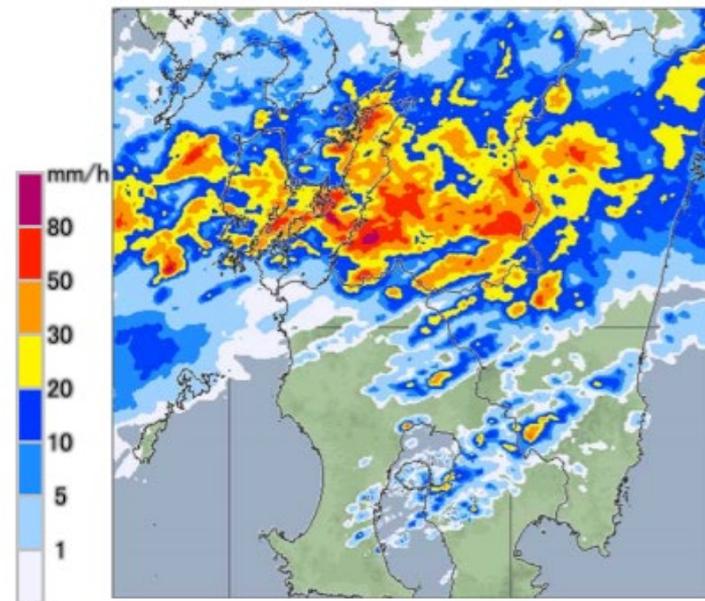
# 令和2年7月豪雨の特徴（降雨）

- 7月3日から7月31日にかけて、日本付近に停滞した前線の影響で、暖かく湿った空気が継続して流れ込み、各地で大雨となった。九州南部・北部、東海、及び東北の多くの地点で、24、48、72時間降水量が観測史上1位の値を超えた。
- 特に、4日から7日は線状降水帯が九州で多数発生し、記録的な大雨となって大雨特別警報が発表された。総降水量に対する線状降水帯による降水量の割合が高く、70%を超えた地点もあり、その割合は「平成30年7月豪雨」よりも大きくなった。
- その後も前線は本州付近に停滞し、13日から14日にかけては中国地方を中心に、27日から28日にかけては東北地方を中心に大雨となった。



気象庁：「令和2年7月豪雨」の特徴と関連する大気の流れについて（速報）  
([http://www.jma.go.jp/jma/press/2007/31a/press\\_r02gou20200731.html](http://www.jma.go.jp/jma/press/2007/31a/press_r02gou20200731.html))

高解像度降水ナウキャスト(7月4日5時)



福岡管区气象台：令和2年7月3日から29日にかけての梅雨前線による九州の気象状況について (<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>)

# 令和2年7月豪雨による一般被害

- 令和2年7月豪雨により、河川の氾濫や土砂崩れ等が発生し、**死者82名、行方不明者4名、住家の全半壊等4,558棟、住家浸水13,934棟の極めて甚大な被害が広範囲で発生した。**※
- 13事業者20路線で土砂流入等の被害が発生した。うち、JR九州九大線・肥薩線及びくま川鉄道では橋梁が流出した。

※消防庁「令和2年7月豪雨による被害及び消防機関等の対応状況(第49報)」(令和2年8月24日)



球磨川水系球磨川  
(熊本県人吉市)



筑後川水系筑後川  
(福岡県日田市)



土石流による被害  
(熊本県葦北郡津奈木町福浜)



県道小鶴原女木線 深水橋  
橋梁流失 (熊本県八代市)



国道41号 道路崩壊  
(岐阜県下呂市)

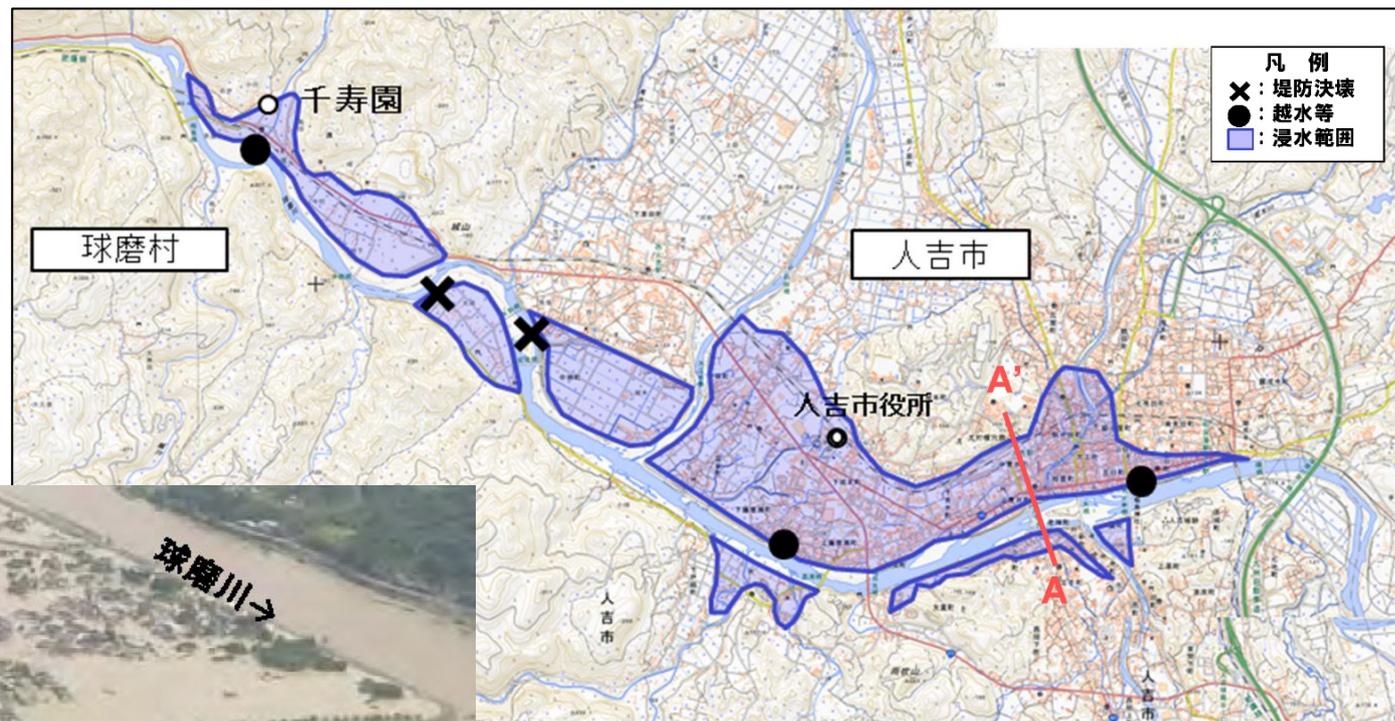


くま川鉄道 球磨川第4橋梁  
橋梁流失 (熊本県球磨郡相良村-錦町)



# 国管理河川（球磨川）における浸水状況

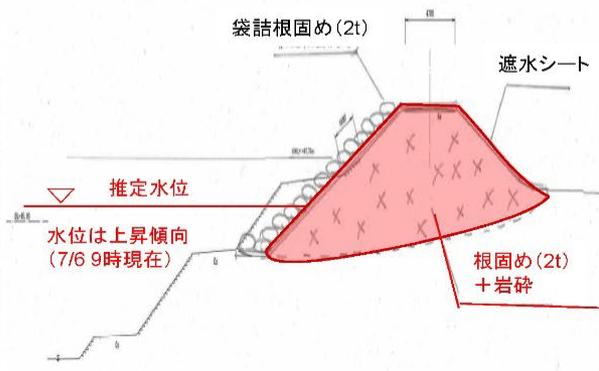
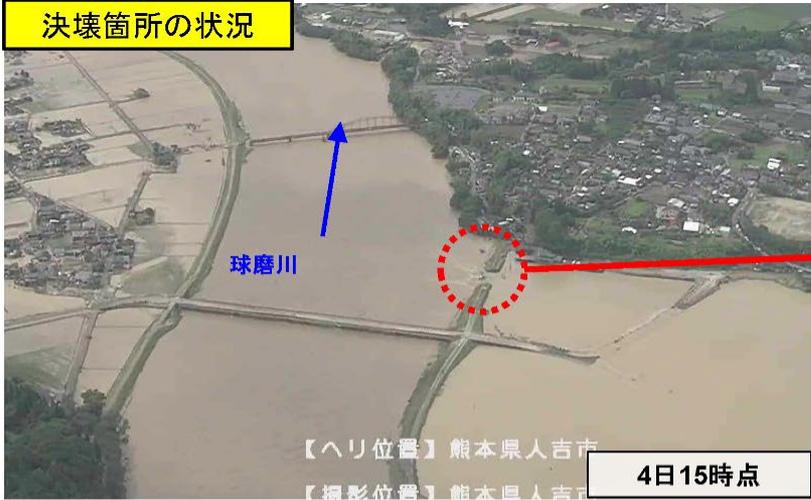
- 球磨川流域では、人吉市の中心市街地等で約1,060haが浸水し、佐敷川(さしきがわ)など  
その他河川や土砂災害による被害も含めると約7,400棟の家屋が被災。



人吉市街部

# 国管理河川（球磨川）の決壊箇所への対応①

- 球磨川では、堤防が1箇所、約30mにわたり決壊（球磨川右岸56.4k付近）
- 人吉市中神地先において、4日23時から24時間体制で対応し、6日9時に仮堤防が完成



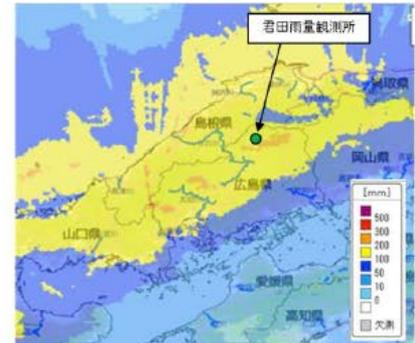
# 国管理河川（球磨川）の決壊箇所への対応②

- 球磨川の堤防が新たに1箇所、約10mにわたり決壊していることを確認（球磨川左岸55.0k）
- 人吉市中神地先において、8日18時に緊急復旧工事に着手し、翌9日9時30分に完成。



# 国管理河川（江の川）における浸水状況

- 広島県三次市の君田(きみた)雨量観測所では、24時間で193.5mmを記録する大雨となった。
- 人的被害はなかったが、江の川の河口5km～55kmにかけて、約223ha、142戸が浸水。



13日4時50分から14日4時50分までの24時間雨量



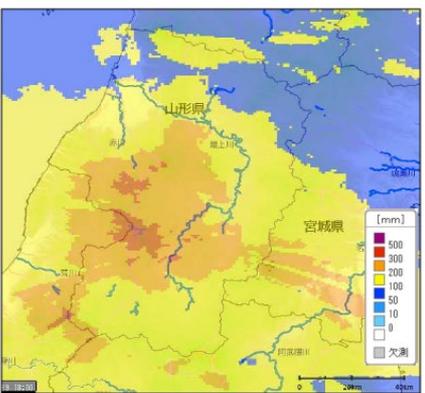
※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。

令和2年7月27日時点

# 国管理河川（最上川）における浸水状況

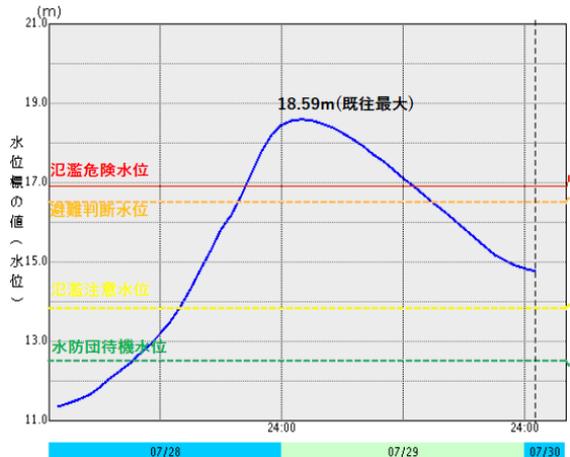
- 最上川沿川では浸水面積約1,700ha、家屋浸水約200戸を確認。
- 国管理河川の最上川では5箇所で越水による氾濫が発生したほか、山形県が管理する支川39河川で氾濫が発生。

● レーダー雨量（7月29日13時までの48時間累積雨量）



山形県長井雨量観測所において、48時間で232.0mmの観測史上最大となる累積雨量を記録したほか、山形県では複数の観測所で観測史上最大を更新する記録的な大雨となった。

● 水位（大石田水位観測所）

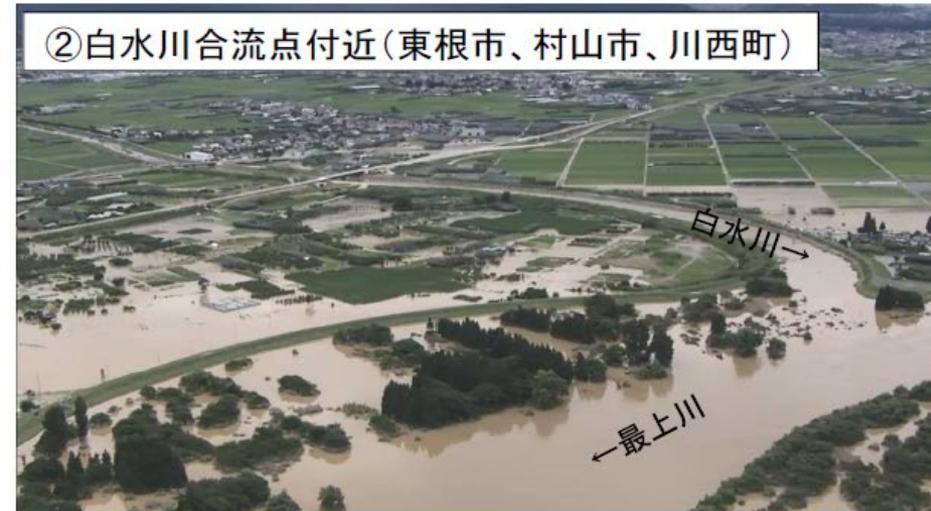


大石田水位観測所では、これまでの最高水位16.87m（昭和42年8月羽越災害）に対して既往最大となる水位18.59mを記録



※図内①～④における浸水状況は次頁参照  
令和2年7月30日14時時点

# 国管理河川（最上川）における浸水状況

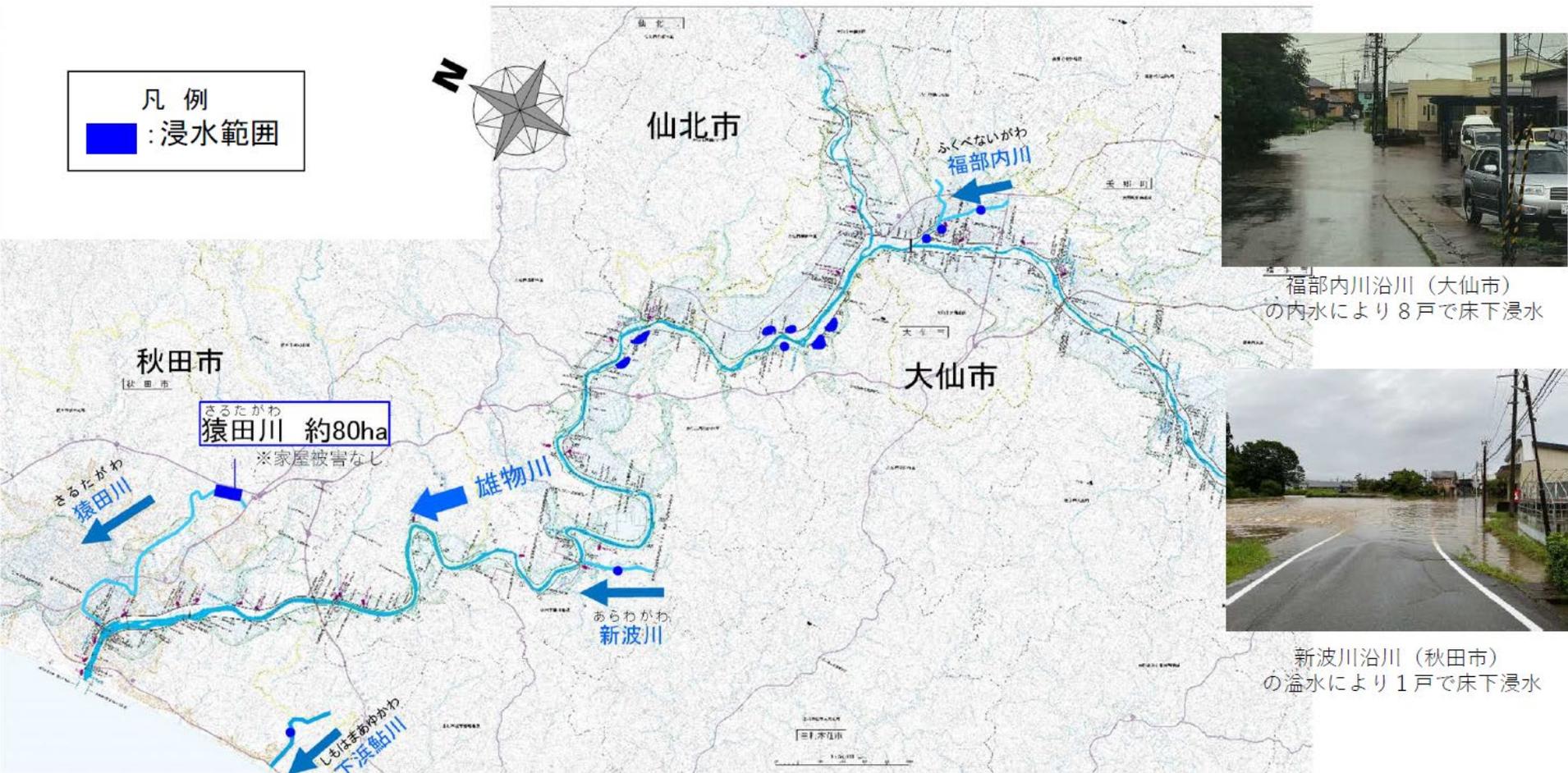


令和2年7月30日14時時点

# 秋田県における浸水状況

- 7月27日から的大雨により秋田県内で約160haが浸水し、約10戸で床下浸水
- 国管理河川の雄物川周辺で内水による浸水が9箇所発生し、約80haが浸水(家屋浸水はなし)
- 秋田県が管理する4河川で溢水や内水により約80haが浸水

凡例  
■ : 浸水範囲



※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。

令和2年7月30日14時時点

# 土砂災害発生状況（全国）

**土砂災害発生件数**

**961件**

〔 土石流等：178件  
地すべり：74件  
がけ崩れ：709件 〕

【被害状況】

人的被害：死者 16名  
家屋被害：全壊 37戸  
半壊 27戸  
一部損壊 161戸

7/4 土石流等

あしきた つなぎまち ふくはま  
熊本県葦北郡津奈木町福浜



死者：3名

7/8 地すべり

させぼ おがわちちよう  
長崎県佐世保市小川内町



7/12 土石流等

しもいな てんりゆうむら あしぜ  
長野県下伊那郡天龍村足瀬



7/4 がけ崩れ

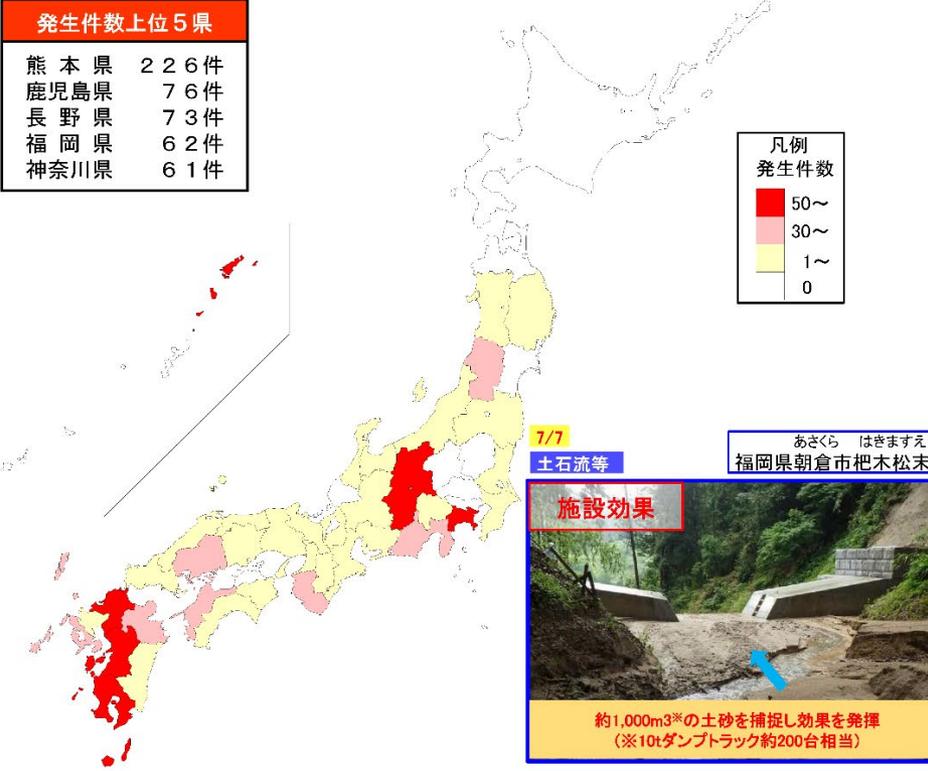
あしきた あしきたまち ふしき  
熊本県葦北郡芦北町伏木氏



死者：1名

**発生件数上位5県**

熊本県	226件
鹿児島県	76件
長野県	73件
福岡県	62件
神奈川県	61件



7/8 土石流

たかやま いわいまち ねむき  
岐阜県高山市岩井町眠木



7/7 がけ崩れ

ひた あまがせまち あかいわ  
大分県日田市天瀬町赤岩



7/7 土石流等

あさくら はきますえ  
福岡県朝倉市杷木松末

**施設効果**



約1,000m<sup>3</sup>の土砂を捕捉し効果を発揮  
（※10tダンプトラック約200台相当）

7/30 地すべり

もがみ おおくらむら みなみやま  
山形県最上郡大蔵村南山



# TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動

- 被災した自治体を支援するため、全国から延約1万人のTEC-FORCEを被災地に派遣した。
- 市町村長の災害対応に助言するとともに、被害拡大防止に向けた浸水排除等を実施した
- 河川・道路等の被災状況調査を行い、復旧を支援。調査結果は災害査定へ活用された。

## ①リエゾン派遣



村長の災害対応に助言。

(熊本県球磨村)

## ②排水ポンプ車による浸水排除



約50台体制で九州各地の排水を実施

(福岡県久留米市)

## ③被災状況調査（国道219号等）



球磨川本川および支川において14橋が流失。寸断した道路に分け入り、啓開方針を策定。

(熊本県球磨村)

## ④調査結果の報告・災害査定への活用



早期復旧に向けて、被災自治体が活用。早期の激甚指定にも貢献。

(岐阜県下呂市)